

社会科

中学生の 地理

中 社会科 中学生の地理
世界の姿と日本の国土
(地理703)
拡大版 [22P]
(全7分冊)①

世界の姿と日本の国土

拡大版 [22P] ①



帝国書院

第5節

関東地方



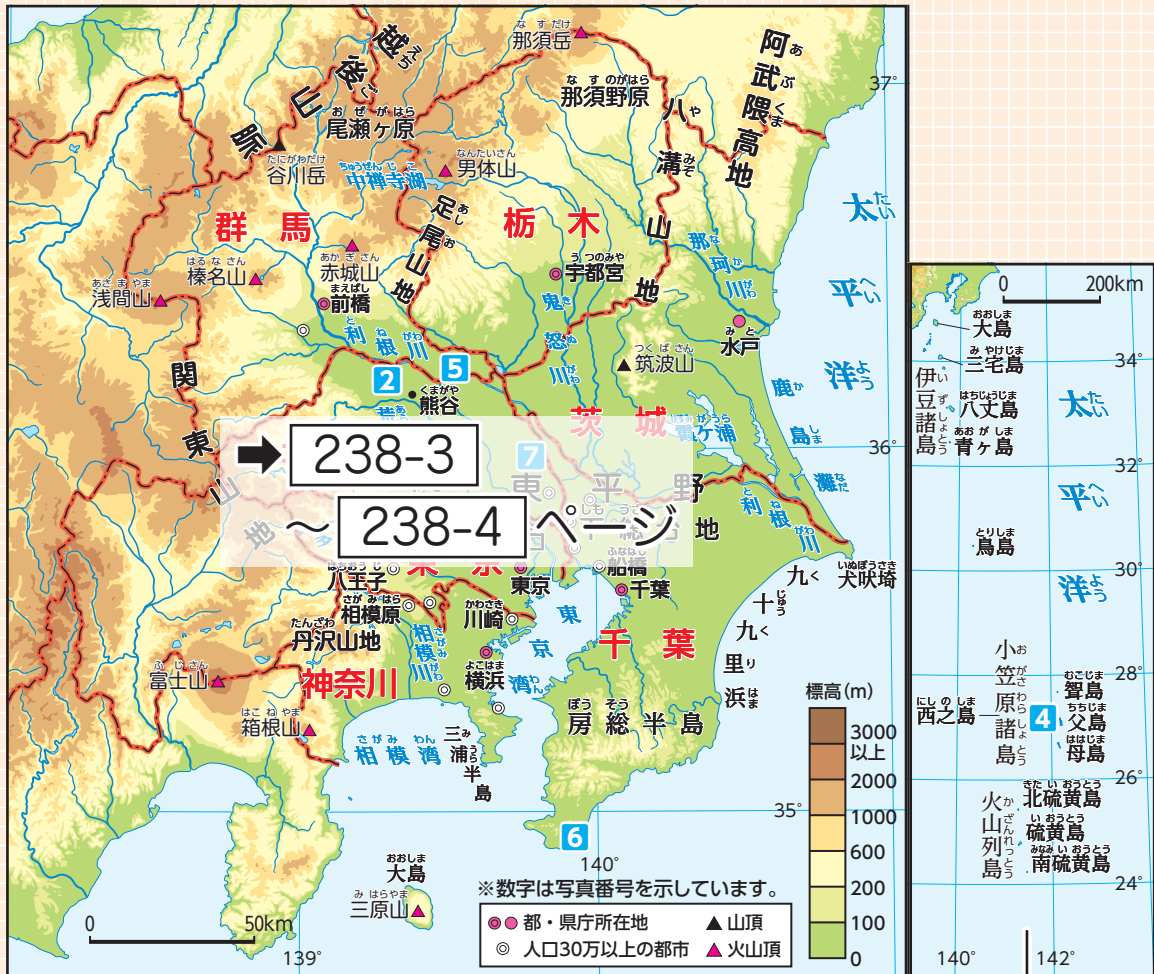
人口や都市・村落に注目して

第5節の問い
p.235～249

関東地方における人口の集中は、
人々の生活や産業にどのような
えいきょう あた
影響を与えているのだろうか。

238-1

↓ 1 関東地方の自然

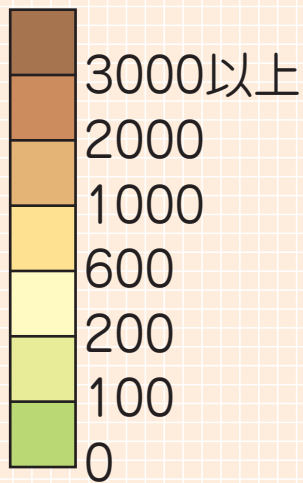


3章 日本の諸地域 関東地方

→ 238-5 ページ

238-2

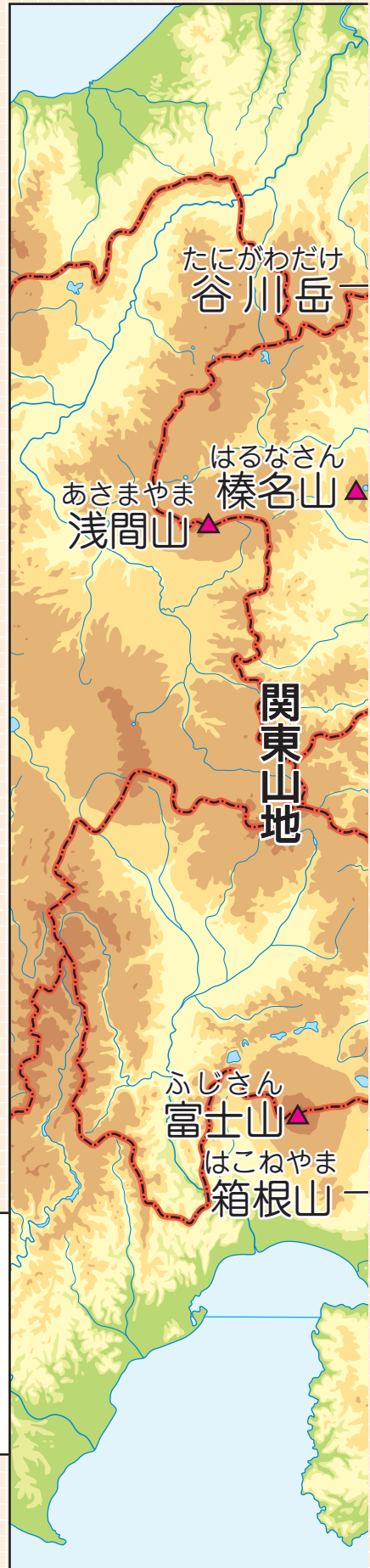
標高 (m)



※ 数字は写真番号を示しています。

- 都・県庁所在地
- ◎ 人口30万以上の都市
- ▲ 山頂
- ▲ 火山頂

238-3

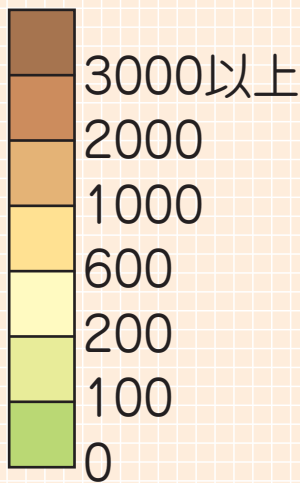




3章 日本の諸地域 関東地方

238-4

標高 (m)



※ 数字は写真番号を示しています。

- 都・県庁所在地
- ◎ 人口30万以上の都市
- ▲ 山頂
- ▲ 火山頂

238-5



↓② ^{じゅうたく}住宅地や畑が広がる関東平野（埼玉県，^{ふかや}深谷市，^{さつえい}5月撮影） 関東平野の中央には，日本最大の^{りゅういき}流域面積をもつ^{とねがわ}利根川が流れています。



3章

日本の諸地域 関東地方

238-6

81

1 | 関東地方の 自然環境

学習 課題

関東地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。

日本で最も広い 関東平野

関東地方は1都6県からなり、約4000万の人々が暮らす、最も人口の多い地方です。日本最大の平野である関東平野を中心に、西は関東山地、北は越後山脈、阿武隈高地などに囲まれています。関東平野には、箱根山や富士山などの火山灰が堆積してできた赤土（関東ローム）に覆われた台地（➡ 144-6 ページ）と、利根川や

238-7

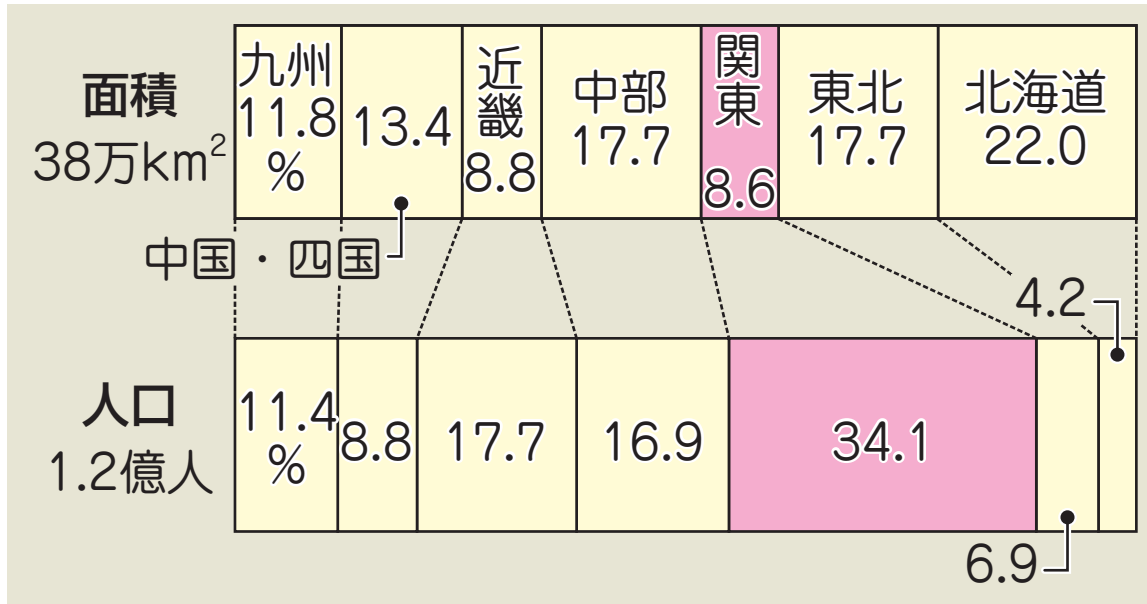
あらかわ たまがわ かせんぞ
荒川，多摩川などの河川沿いにできた低地
が広がっています **2**。

関東平野は，17世紀初めに江戸幕府が開
かれてから開発が進み，人口が増えていきま
した。下総台地などの台地は水が得にくく，
畑作地として開墾されましたが，今日では
住宅地やゴルフ場なども多く見られます。

一方，川沿いの低地は水が得やすいので水
田に利用され，人口が多い都市部では高層
ビルも見られます (➡ **236-2** ページ)。
太平洋に面した海岸線には，九十九里浜の
ような砂浜海岸 (➡ **145-1** ページ) が見
られます。東京湾は海岸線の大部分が埋め
立てられたため，自然のままの海岸線はほ
とんど残っておらず，埋立地は工業用地な
どに利用されています (➡ **161-2** ページ)。

238-8

↓③ 日本の面積・人口に占める関東地方の割合
 (2019年)〈住民基本台帳人口・世帯数表 平成31年版, ほか〉



小学校 ● 歴史 ● 公民との関連

日本の自然環境 (小), 防災対策 (小)

238-9

内陸と海沿いで こと異なる気候

関東地方の大部分は太平洋側の気候（➡
147-7 ページ）ですが、内陸と海沿いで
は気候が異なります。

北関東を中心とする内陸は、夏と冬の
気温差が大きく、降水量が少ないのが
特徴です。特に冬は、北西の季節風（➡
51-8 , 147-1 ページ）が越後山脈など
にぶつかって雪を降らせたあと、乾いた風
① となって関東平野に吹き降りてくる⑤
ため、晴天の日が続きます（➡ 147-5 ペー
ジ）。夏は、埼玉県熊谷市のように毎年高
温になる町もみられ、山沿いでは雷雨がし
ばしば発生します。

一方、南関東を中心とする海沿いの地域は、^{くろしお}黒潮が近海を流れる（⇒ 145-3 ページ）ため、冬でも^{おんだん}温暖なのが特徴です。
^{ぼうそう}房総半島や^{みうら}三浦半島は、冬に観光農園で花摘みが楽しめることでも知られています 6。
東京都に^{ぞく}属する^{いずしょとう}伊豆諸島などの島々は一年中温暖で、特に^{いど}緯度が低い^{おがさわら}小笠原諸島の島々は、^{なんせい}南西諸島（⇒ 182-3 ページ）と同じような気候です 4。

高層ビルが立ち^{なら}並ぶ東京の中心部では、気温が周辺地域よりも高くなるヒートアイランド^{げんしょう}現象がみられます。また近年は、短時間のうちに大雨をもたらす局地的大雨（ゲリラ^{ごうう}豪雨）が、気温が高くなる夏に、^{いた}関東地方の至る所で発生しています。

239-2

① 「からっ風」や「赤城^{あかぎ}おろし」, 「男体^{なんたい}おろし」,
「筑波^{つくば}おろし」など, 地域によって, さまざまな
名称^{めいしょう}でよばれています。

↓④ 世界遺産に登録されている小笠原^{いさん とうろく}諸島の
父島^{ちちじま} (東京都, 小笠原^{おがさわらむら}村, 6月^{さつえい}撮影)



3章

日本の諸地域
関東地方

238-10

239-3

87

やしきもり
↓ ⑤ 「屋敷森」とよばれる防風林がある家（群馬県、
めいわまち さつえい
明和町，1月撮影） 屋敷森は，家の北側か西側に
つくられ，冬の季節風から家を守ります。



239-4

↓⑥ ^つ花摘みを楽しむ観光客が見られる ^{ぼうそう}房総半島の
^{みなみぼうそう}花畑（千葉県，南房総市，2019年2月撮影） ^{さつえい}



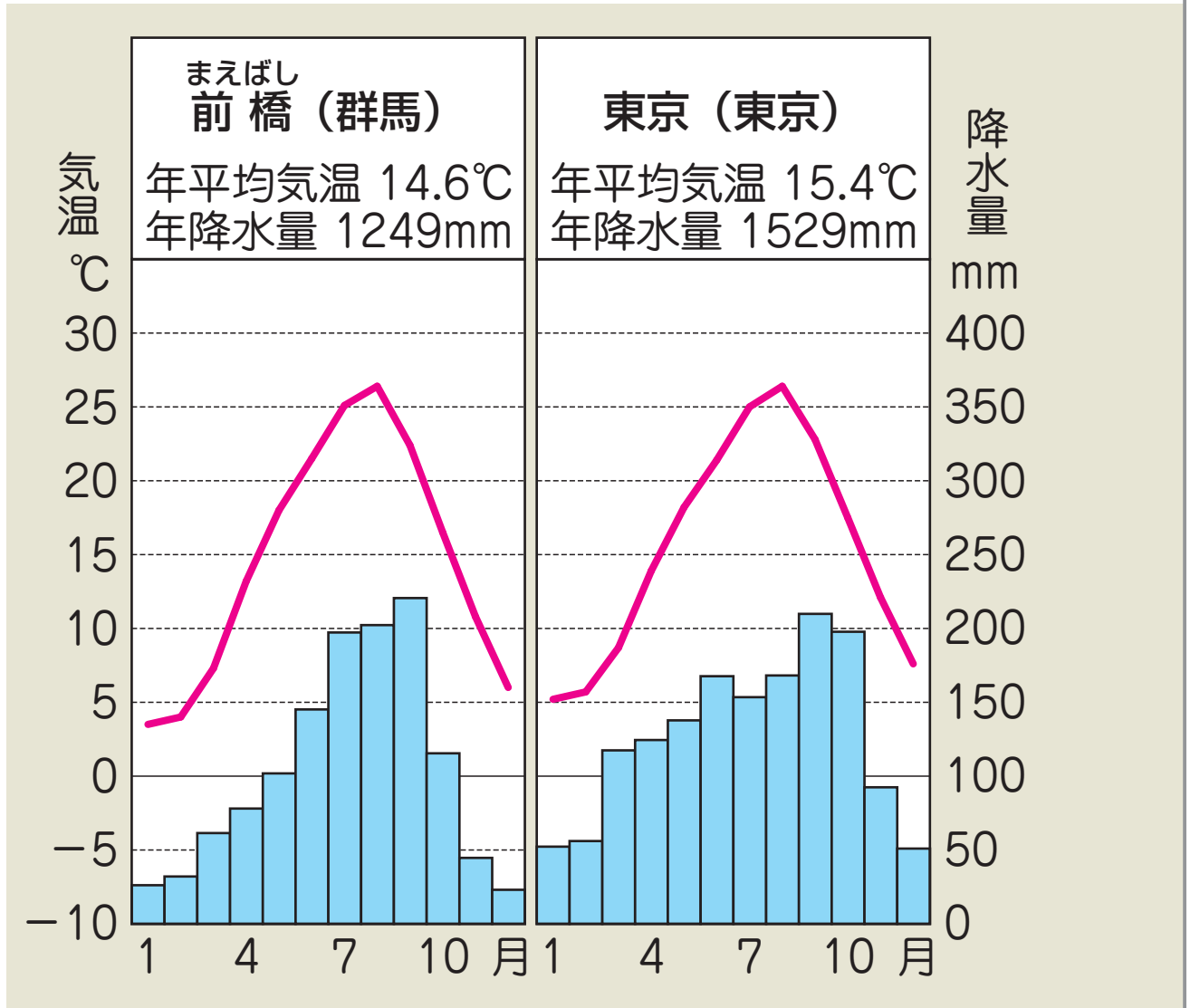
3章

日本の諸地域
関東地方

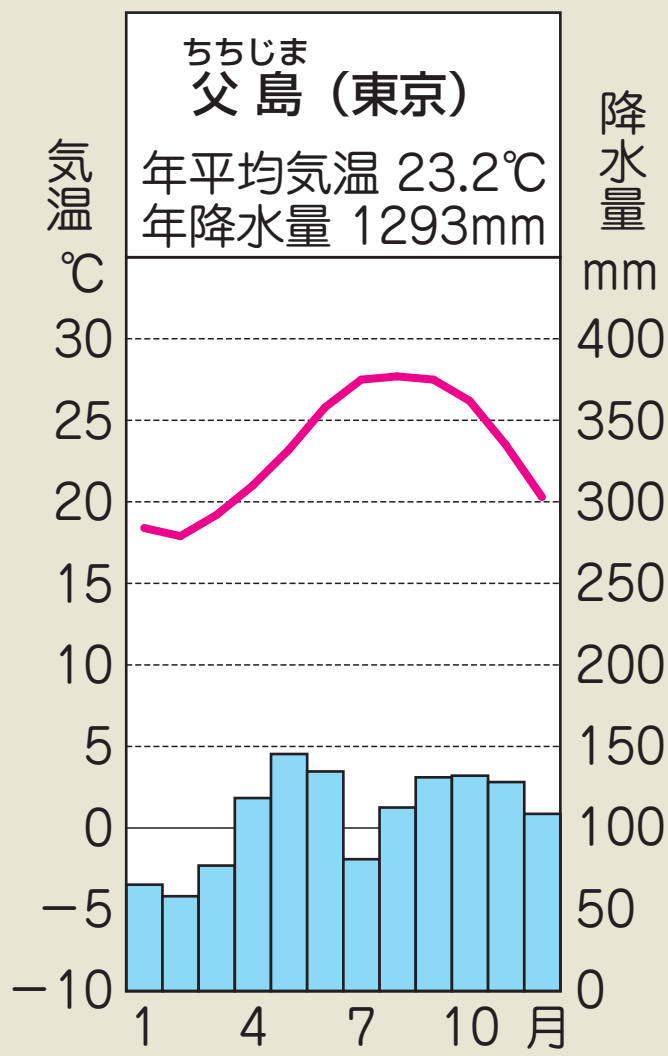
239-5

89

↓ ⑧ 関東地方の主な都市の雨温図 〈理科年表 2020, ほか〉



239-6



資料活用 まえばし 前橋, 東京, ちちじま 父島の位置を, 図1で
かくにん 確認しよう。

239-7

すいがい そな
都市型の水害に備える取り組み



近年、^{しゅうちゅうごう}集中豪雨や局地的大雨によって、都市型の水害が起こりやすくなっています。都市部では、自然を改変して^{じゅうたく}住宅地や^{せいび}道路を整備したので、地面の多くがアスファルトやコンクリートで^{おお}覆われています。そのため、雨水が地下にしみこみにくく、雨量が下水道や遊水地などの^{はいすいしよりのうりよく}排水処理能力の^{げんかい}限界を短時間のうちに^こ超えると、^{はんらん}氾濫や^{しんすい}浸水が生じやすくなります。

こうした都市型の水害を^{ふせ}防ぐ取り組みの一つに、地下に^{せっち}設置される調節池や放水路などがあります。例えば、埼玉県東部の^{かすかべ}春日部市内の地下には、^{そうえんちょう}総延長約6.3kmにわたる^{しゅとけんがいかく}首都圏外郭^{けんせつ}放水路が建設されました。この放水路は、大雨などであふれそうになった^{なかがわ}中川などの水を一時的に^{ちよすい}貯水し、^{えどがわ}江戸川に排水することで、中川・



関東地方における内陸と海沿いの気候の
ちが 違いを、図 **8** で 確 認 しよう。



関東地方の地形の 特 徴 について、「台
地」と「低地」の 語 句 を 使 っ て 説 明 しよう。

239-10